

元プロ選手 高橋功一氏による スポ少野球教室

12月30日、ゆめすたを会場に三種町野球連盟主催によるスポーツ少年団野球教室が行われました。講師は元オリックスブルーウェーブ投手の高橋功一氏。午前投手の部、午後から全体での講習会で町内外4チームから約80人の児童を対象に野球の基礎的な動きを指導していました。

指導は、三種クレインズや能代高校硬式野球部の有志の協力のもとで行われ、子どもたちは、元プロ選手の指導に目を輝かせながら真剣に楽しく活動していました。



▶わかり易く丁寧に指導

無病息災・家内安全を願って 浜田と鹿渡でどんど焼き

1月8日、浜田農村公園で浜田獅子舞愛好会（清水秀男会長）主催による「大どんど焼き」が行われました。

公園の中央に組み上げられた高さ5mほどの竹のやぐらの中には、住民らが持ち寄った御幣やしめ飾り、門松などが納められ、神事の後に点火。やぐらは勢いよく燃え上がり、参加者は炎に包まれたやぐらに1年の無病息災や家内安全などを祈願しました。

同日、鹿渡の松庵寺では、鹿南清流会（川村英夫会長）が主催し、どんど焼きが行われました。



▲燃えさかる炎に願いを込めて（浜田）

子どもたちが一軒一軒地域を周り、集めたしめ飾りや御幣、お守りなどを、井桁に組んだ木枠の中に入れて点火。参加者は、手を合わせ今年一年の招福を願っておりました。

両会場ともあったかい鍋料理などが振る舞われ、参加者は冷えた体を温め、交流を深めていました。



▲リヤカーを引きしめ飾り等集め歩く（鹿渡）

旧鯉川小 懐かしの学び舎で「最後の授業」

1月8日、旧鯉川小学校で「退職を祝う会」が行われ、恩師と共にかつての教室で思い出を語り、共に汗を流した体育館でフリースロー等を楽しみました。

企画したのは鯉川小を平成2年度に卒業された方がたで、1年ほど前に恩師の定年退職を知り、「恩返ししよう」と準備を進めてきました。

今年度限りで定年退職するのは、下岩川小の浅野満教頭先生で、当時4年生から卒業までの3年間担任し、その間ミニバスの指導もされ、東北大会出場等の好成績を収めました。

当日は、同級生15人のうち町内をはじめ東京都等から9人が参加。「最後の授業」では、「恩を着せるより、恩に着ること」「努力に優る天才なし」など人生訓等を伝えていました。その後当時の思い出と近況を報告し合いました。

廃校となつたかつての学び舎でたくさんの思い出を包まれながら、笑いや感動いっぱい、和やかな会となりました。



▶かつての教室でたくさんの思い出を語り合う